

# KBI NEWS

〒630-0266  
 奈良県生駒市門前町 22-1  
 TEL: 0743-70-8600  
 FAX: 0743-70-8601  
 編集・発行人: 大田裕作  
 郵便振替: 01140-6-67708  
 銀行: 尼崎信用金庫上ヶ原支店普通 0015453  
 Eメールアドレス: kbi-mark117@ares.eonet.ne.jp  
 ホームページ: <http://www.kbiwave.com>



## 学生の声 を聴く 務め

KBI教師

近藤 由美師



私はこの十五年ほど三週間コースでの「親との関係を見つめる」の講義を、そして現在は二年生の「読書会」と三年生の「ケース・スタディ」の授業、学生のカウンセリングを担当させて頂いています。

私は高校時代に友人を次々に教会に誘い、受洗する人たちが起こされていきましたが、気が

つけば全員が教会を去ってしました。それで「福音を信じて生きる」ことが私自身のテーマになりました。

KBIで、私に向かって心の覆いを外して魂を絞り出すように話してくれた学生たちの言葉は簡単に受け止められるほど生易しいものでなく、カウンセラーとしての私は、じっとその言葉に耳を傾けることが務めであることがわかりました。学生には只々敬意を覚えました。快活そうな表情の奥に、これまで

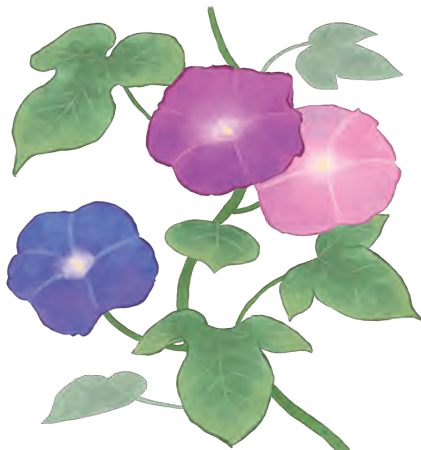
じつと耐えてきた痛みや癒されてこなかった傷、こらえてきた呻きがあることを、今も知らされ続けています。「もう何度もの証をしてきましたが、このことを話すのにこんなに涙が出るとは思っていませんでした」と暫く呻くようにして泣き続けた学生の言葉は、私が学生の話の聴く時に心に据える言葉になりました。

神の言葉は私たちの人生の隅々にまで染みわたり、人格の

中心から変革を起こすものと信じます。それを経験するためには、自分自身に正直に向き合うことが欠かせない作業なのです。それを怠ると安易な癒しに手を出して、実際には自分を殺して生きることになります。

その上で自分自身が向き合った事柄を言葉化することが大切です。学生には心の内に秘めてきた本音を、そのままの言葉で言い表せるように励ましたいと思っています。ありのままのその人を表舞台に引き出し、そのところで学生が神と出会うことを私は願っています。

神が創造されたユニークな学生たちとの出会いに感謝すると共に、その輝きが増すためのお手伝いが出来たら幸いです。



## 神のデユナミス 三週間コース特別講義

### 福音のすばらしさ喜びの広がり

三年 斎藤 志帆

今回、角本師の講義を受講し「福音の力」「イエス・キリストを通してのみ成される回復と平安」について深く学び、福音の素晴らしさをもう一度味わい、励ましを受ける時となりました。

福音とは何か。それは信じる人にとって救いをもたらす神様の一方的な恵みであり神様の力、イエス・キリストご自身。福音の力とは何か。それは家族、親子、夫婦、兄弟関係の回復が神様によって成される。人間の力や自分の努力では変えることも回復させることも不可能であるが、神様には不可能なことはない。人との関係の間にも父なる神様と人間との和解の執り成し手となってくださったのがイエス・キリスト。このお方によって本当の和解と平安がもたらされる。父なる神様と自分の関係という縦軸が真っ直ぐになる時、初め

て次に横の繋がりである人との関係の回復が可能となる。

一人の人がキリストと出会い変えられ、家庭が回復される、そして家族・地域に福音の喜びと平安が広がり、真の神様に礼拝が捧げられていくことを教えられました。

角本師の証やメッセージを通して思わされたことは、家庭の中は孤独と崩壊が進んでおり「命が流れる心と心の交わり」が不透明で失われつつあるということとです。この閉ざされ傷んだところに、今イエス・キリストを通して癒しと回復が必要なんだと気づかされ、強く心が打たれました。私もまだ家族が救われていない状況ですが、先に救いの恵みに与った私たちはより一層イエス様が行こうとされている各家庭に「この家に平安があるように」と神様の宣教に合わせられ、私たちも恐れることなく祈っていききたいと励ましを受けました。

### 全ての人に救いを得させる神の力

二年 森島 孝志

「福音の本質は神様の愛です」

「福音の中心はイエス・キリストです」特別講義の講師、中村陽志先生が何度か語られた言葉が印象に残りました。パウロが手紙を書いた時、すでに福音が世界中で実を結び成長していた(コロサイ一・六)が、今の日本を見た時にそう言えない現実がある。そのことにまず向き合う必要があるのではないか。私たちはこの神様の恵みを聞いて本当に理解する必要があると語られました。私たちが福音を聞き、本当に理解したのなら、たとえ口を塞がれたとしても他の人に伝えずにはいられなくなる。私たちはコピー品ではなくオリジナルであって、神様の最高傑作であり、私たちの容姿・性格だけでなく、何故あんなことが・・・と思うような人生経験さへも、神様の武器として用いてくださいることをご自身の幼少期の辛い経験から語ってくださいました。そして、不思議な導

きによって熊本刑務所の教誨師として用いられた経験から、救いが刑務所で起こっていることもシェアしてくださいました。また、中村師が主に示されて里子を受け入れる過程で、里子が里親の愛を試す「試し行動」が長い間続いた出来事も話してくださいました。ある日疲労困憊の中、御霊に促された先生はその子どもに「○○(名前)、○○はパパの子だよ。」と抱きしめて語った時、その言葉を受けて子どもが「僕はパパの子ども。」とおうむ返しするということが三度繰り返され、その後で本当に親子としての関係が深まったそうです。神様が私を子と呼んでくださる、その神様の愛の声を私たちは毎日聞く必要があること、そしてその恵みを理解し続けていく時に、私たちの持ち運ぶ福音に神様が勢いをつけてくださる、それゆえ私たちは毎日、毎日、神との生きた交わりに生きていく必要があると教えられました。

### 三週間コースの証

池端 克弥

このKBI三週間コースは、自分がイエス様の十字架によって救われ、愛されていることを再確認し、救いの原点を握り直す機会となりました。私何が出来るか、何をしてきたかなど、自分の行いによって救いを得るのではないと知りながら、自分の心では、あれが出来ないから、この間違いをってしまったからと責め、神様の愛から離れているのでは無いかと思ってしまうことがありました。しかし、神様はそんな心の器の狭いお方じゃない。神様が愛するひとり子を犠牲にしてまで愛してくださる、そのような無限大の愛の前に、自分の行いにより、信仰の浮き沈みが起こること自体が無駄だと思われました。ただ神様の愛だけを握り続け、ひと足ずつ神様と共に歩み、成長していききたいと願わされています。

### 三週間コースの証

宮里 紗矢香

三週間コースの中で最も深く味わった恵みは、神様の御前に開かれた分かち合いの時でした。牧師家庭やクリスチャンホームで育つ葛藤、親子関係、学校での孤立、社会での挫折、信仰生活のバーンアウト。自分を隠さない言葉で語られる贖われた人生はどれも唯一無二で、「その苦しみの中で主と出会い、私達も今こうして出会っている」という一人一人への思いと、互いを通して新たに主と出会う喜びが溢れてきました。神の御子が人としてこの地に降りて来られ、目を留め、耳を傾け、語ることを通して人々と出会い、わたしたちのように、私達の間にも心を分かち交わりがもたらされていること。そこに主が共におられ、弱さの集合体である私達が御からだとして一つにされていくこと。弱さが開かれ、礼拝へと導かれるプロセス。独りでは受け取れない、豊かな恵みを一緒に分かち合えたことを感謝します。

### ●二〇一九年度 入学生●

#### 三週間バイブルコース

李鐘河 (Grace Truth Church)

池端克弥 (高砂教会)

原愛 (高砂教会)

宇江正廣 (南大阪福音教会)

三方美智子 (南大阪福音教会)

宮里紗矢香 (南大阪福音教会)

立部督成 (小森野キリスト教会)

大塩ほさな (国分福音教会)

富浦彩 (国分福音教会)

川崎真奈 (狭山福音教会)

花城光 (与儀ファミリー教会)

#### 本科コース

葛西隆憲 (京都クリスチャンFC)

神澤晏児 (高砂教会)

佐藤創 (エレベートチャーチ)

菅沼聖化 (ニューホープチャペル)

花城有哉 (与儀ファミリー教会)

森田拓人 (雲井キリスト福音教会)

石井すみれ (町田純福音教会)

佐々木有美 (青森バプテスト教会)

鈴木ひかり (大和カルバリーチャペル)

瀬在曜子 (単立馬橋キリスト教会)

福井歩 (南名古屋キリスト教会)

#### CPRCコース

井上隆晴 (南大阪福音教会)

奥本耕史 (エレベートチャーチ)

河合朋子 (活けるキリスト大阪一麦教会)

住吉智子 (J-house)

山本真樹子 (J-house)  
 辻井敏子 (岬福音教会)  
 吉田昭子 (チャペル犬山)



## 入学の証

## 一年 花城 有哉



私は妻と二人で沖縄から出てまいりました。KBIへ入学する思いはありましたが、私たちは本当にお金がないので、私自身はこの年での入学に乗り気ではありませんでした。学費、生活費、仕事…思い悩むことばかりでした。しかしその中でも入学に導かれたのは、やはり主が語り、導いてくださったからに他なりません。示された御言葉がいくつもありますが、一つはルツ記一章から、ルツが故郷を置いてでも自分の信じた神の元

へゆくことを選んだ信仰です。神様がルツに大きく報いてくださったことは、私どもにとって大きな励ましとなりました。もう一つ、第一コリント二章九節の御言葉から、(主に経済状況について)自分の状態を顧みると進歩するということは到底考えられないことでしたが、神様は私たちが思いもしない方法で、私たちに恵みを与え、道を備えてくださる方ということが私たちに語られました。

さらに、私たちの母教会の年間聖句として与えられた御言葉がイザヤ三十章二十一節で、この御言葉に背中を押されていると感じました。神様がその道を用意してくださっているなら、神様が責任を取ってください、養ってくださいという信仰を与えられました。入学してからも、神様は様々な方法で周りの兄弟を通して私たちを支えてくださっています。直接または間接的に援助して下さったり、家電はほとんどいただき物で、妻が出しているCDを多くの方が買って下さいました。今は、KBIでの学びに期待しつつ、主にあつて支えてくださる方々の祝福と平安を祈る日々です。

## 入学の証

## 一年 石井 すみれ



クリスマスチャンホームなのに十年ほど放蕩し、次はKBI入学を避け続けた十二年。どちらもかたくなな私の心の扉を叩き続けてくれたイエス様に心から感謝致します。「ここに、大麦のパン五つと、魚二匹を持っている少年がいます。でも、こんなに大勢の人々では、それが何になるでしょう。」(ヨハネの福音書六章九節)何度も何度も示されたこの御言葉が私を献身へと導きました。私にはいつも自信がありませんでした。周りの人は奏楽ができたり知識が豊富だっ

たり祈りが素敵なのに、私には何もないと感じていたからです。その思いはKBI入学を決めた後も続いていましたが、昨年末アメリカにいた私に主が見せてくださったイメージは「日本を愛おしく見ておられる主のまなざし」でした。私は今まで日本にいる日本人しか見ていませんでしたが、神様が私の弱さを理解したうえで用いてくださるから、どんな場所でも状況でも大丈夫、ということが確信として与えられKBIへ入学することができました。

三週間コース中に「執り成す」ということが示されました。神様はKBIでも私に最高の祈り合える神の家族を与えてくださいました。私がしてもらっているように、私も執り成し祈り、主に応答していきたいです。また主の中に安息があり、そこそが私の居場所であることを握り、神様の計画の中を一步一步焦らず歩んでいきたいと祈っています。「目を覚まし、死にかけている残りの者たちを力づけなさい。わたしは、あなたの行いがわたしの神の御前に完了したとは見ていない。」(ヨハネの黙示録三章二節)



こうやって学んでいます

三年 饒平名真実

私は、KBIでの学びの中で、とことん「自分」と「人」と「神様」と向き合われています。その中で、揺るぐことのない救いの確信（義とされる立場）と召命に立つことを学びました。一年生の時、精神的にも身体的にも自分が崩れていき、本当に限界を感じることも何度もありました。正直、もう無理だと思いついて逃げ出したくなってしまふこと



も多々ありました。みことばと向き合う度に、みことばの真理の光が私の内側の暗闇を照らして、自分の姿を映し出して、自分と向き合われました。みことばを通して、神様の前と人の前での態度の違いや、奉仕に対する姿勢、私の本当の姿が浮き彫りにされました。その度に自分の罪と肉の性質を憎み、本当にこの罪から離れたいと強く願わされました。自分の中にある現実を見せられる度に、神様の

真理の中、光の中を歩みたいと本気で願うようになっていきました。自分は本当にどうしようもない無力で弱い者であることを認め、降参し、その中でただ主にならざる、主が引き上げてくれるまで忍耐を持って主の前に留まる訓練でした。その度に、十字架の福音に何度も立ち返り、噛み締めて、揺るぐことのないこの救いに固く立つことを学びました。そして、どんなに辛く、倒れそうな時も、いつも私の下には主の永遠の御腕があり、私は主に握られていて、主の恵みによって生かされていることを知りました。私が今、KBIで三年目の学びができてるのは、私を召してくれた主の誠実さと、私の弱さと足りなさを覆う大きな主の恵みによるといふことに気づかされました。このように、私は、不完全で未熟な者ですが、私を召してくれた主の真実さに信頼して、最後の一年も選びと救いにしっかりと立って、感謝と喜びをもって学びたいと願います。



ことうやって仕えています



二〇二二年卒 国分福音教会牧師

富浦 信幸 師

二〇一〇年に入学してすぐの宣教学の授業。“Go into”... 出て行ってその中に入り込んで... 私の中に衝撃が走った。卒業後これだけは必ず実践しようという心を決めた。

現場に遣わされて丸六年。イエス様を知らない人の所へ家族ごと“Go into”してきた。多く

の出会いと繋がりが広がってきた。その中で感じてきたことは、皆自分の内にある。本当のことは、誰かに話したいと願っている。我が子を通った幼稚園でのこと。園庭でのママ達の井戸端会議。話題は旦那か子どもの愚痴。それをお互い笑い飛ばしながら共有する。ある日、一人のママが妻に、「彩ちゃんなら聞いてくれるかなと思って」と家を訪ねてきた。内に秘めていた、井戸端



家族写真

会議では到底言えない。本当のこと。を話してくれた。それを機に数年前から週に一度のママ達のカフェ。オリーブ。が始まった。今では教会の行事への参加はもろろん、飾りつけや裏方まで手伝ってくれる。あるママは、古くなった教会用の聖歌カバーまで作ってくれた。思いつくまま出て行ってたら、気が付くといつしか向こうから入って来てくれるようになった。いわゆる教会員でない神の家族がたくさんいる。教会が地域の「居場所」になってきた。平日にお茶しながら、また夕食を共にしながら福音を伝える機会が与えられてきた。今強く感じることは、本当のこと。を言える人、場所を探している。そう、クリスチャンと教会を。私たちは探されているんだと。こんなチャンスはない。日常の中を普通の人として“Go into”するだけ。伴って下さるイエス様と一緒にいけば、探している人は必ず気付く。これこそ福音。ただこの一事に、謙遜に仕えていきたい。

●週末奉仕教会●(母教会は除く)

一年生

- 神澤晏児 (Be-one Osaka キリスト教会)
- 花城有哉 (千代田福音教会)
- 石井すみれ (京都ベタニヤチャーチ)

佐々木有美 (北鈴蘭台教会)

鈴木ひかり (関西カルバリーフェローシップ)

瀬在曜子 (野崎キリスト教会)

福井歩 (ヒルズチャーチ)

二年生

岩佐光 (奈良ライフソングチャーチ)

山田愛也 (和歌山福音教会)

深谷さおり (川西福音教会)

三年生

浅井大輔 (チャペル犬山)

阿見宣洋 (ゴスペルチャーチ千里)

敦賀自由キリスト教会

有馬陽介 (垂水福音教会)

金沢晃 (京都オンヌリ教会)

森勇喜 (狭山福音教会)

齊藤志帆 (堺シオン福音教会)

饒平名真実 (須磨自由キリスト教会)

# ご献金感謝します

献金者名簿（日付順・敬称略）（2019.2.11～2019.5.15）（KBIへの直接献金分）

## ■一般会計献金

### <KBIを支える会>

個人：福元玲子、渡辺とも子、大田裕作、安黒務、黄金井尚美、門谷皖一、斎藤邦夫、兼松道子、伊達山洋子、井田義也、豊村善典、石崎政登、大橋良男、増永弘、高橋めぐみ、トーヴェ・ボルヨソン、福田徹生、井野葉由美、岩本美保、菅沼威、熊本直美、高橋昭市、田中憲昭、松本亜紀子、山本篤、東典子、鶴野英子、吉田麻衣子、藤井三紀子、山田裕一、小山大三、福沢正章、小池牧雄、安野清子、平吹百合愛、小森康三・仁美、嶋林泰代

教会 & 団体：カナンプレイズチャーチ、千代田福音教会、鈴鹿キリスト福音教会、尾上聖愛教会、旭川神愛キリスト教会、京都シオンの丘キリスト教会、狭山福音教会、八尾南福音教会、奈良福音教会、久留米ベテルキリスト教会、チャペル犬山、ゴスペルハウス静岡、西可見キリスト教会、活けるキリスト大阪一麦教会、シャローム希望教会、可見福音教会、ゴスペルチャーチ千里

※KBIへの直接献金分のみ記載しています。各団体に献金してくさっている場合、教会名でなくその団体名を記載しています。どうぞご了承ください。

### <運営支援献金>

岐阜純福音大森チャーチ、美濃グレースチャーチ、伊勢原聖書キリスト教会、鶴見純福音教会、岐阜純福音教会、御殿場純福音キリスト教会、ジャパンベサニーミッション、保土ヶ谷純福音教会、KBI 支援協力会（FCMF 諸教会）、小松ベタニヤ福音教会

### 1. 建設基金献金

個人：春名裕  
教会 & 団体：岐阜純福音教会、秦野クリスチャンセンター

### 2. その他

個人：山本満由美、梶山直樹、日向さやか、狭山福音教会有志、中原辰久、兼松道子、奥田昭、山崎睦子  
教会 & 団体：西可見キリスト教会、八木山聖書バプテスト教会、淀川栄光教会

## ■奨学基金献金

個人：竹川正英、出原市子、芝連代、後山慎治、森本裕・眞美子、長谷川みちる  
教会 & 団体：西可見キリスト教会、シャローム希望教会、伊勢崎神愛キリスト教会

# KBI2018 年度会計報告 (2018.4.1～2019.3.31)

①一般会計	(収入)	KBIを支える会献金	3,830,551	(支出)	維持管理費	12,759,976
		支援団体献金	15,525,720		経営費	12,019,721
		特別献金	4,226,130		人件費	23,057,820
		学生維持献金他	32,028,421		退職金引当金	1,000,000
					修繕積立金	2,000,000
					予備費	1,238,640
		前年度繰越金	3,133,181		次年度繰越金	6,667,846
		収入合計	58,744,003		支出合計	58,744,003
②奨学基金	(収入)	奨学基金献金	854,000	(支出)	奨学金支給	1,031,960
		前年度繰越金	3,186,073		次年度繰越金	3,008,113
		収入合計	4,040,073		支出合計	4,040,073

2018年度より「一般会計」と「建設会計」を統合しました。  
それに伴い「建設基金献金」は一般会計の「特別献金」に移行いたしました。

# 公式SNS 絶賛更新中

フォロー・いいね!  
で応援よろしくお願いします

- ・ 学生たちの日常
- ・ 授業風景
- ・ オリジナル賛美  
etc...

神学校をのぞいてみませんか?



FaceBook



関西聖書学院

Twitter



@kbi\_jpn

Instagram



@kbi\_jpn

●OB・OG通信●

- ・退職しました。(兼松道子姉 三月末をもちまして十二年間お世話になったKBIでの働きを終えました。今後は母教会での奉仕を中心にします。)
- ・小山健師 三月三十一日 主任牧師に就任しました。大三師は顧問牧師となりました。
- ・金成弼師 明石福音教会に着任しました。(JEC認定伝道師)
- ・白田百合子師 二月で西宮福音教会を離任し、大佐和キリスト教会(千葉県)に着任しました。
- ・緒方賢一師 六月九日 奈良福音教会の主任牧師に就任しました。
- ・伊佐治洋平師 四月 垂水福音教会の主任牧師に就任しました。
- ・大塚マリ師 ロサンゼルス of ベニスフリーメソジスト教会の牧師に着任。
- ・三堂弘治師 四月保土ヶ谷純福音教会に牧師として着任。結婚しました。
- ・十月七日 伊藤瑠光子姉 (下田大気兄と。)
- ・六月二二日 西川牧雄師 (杉山泉姉と。)

・献堂しました。(六月九日(日) ニューライフキリスト教会(春名裕師))

・廃車しました。長年愛用しましたハイエースとエステイマ、故障連続のため。送迎用ワゴン車が必要です。お祈りください。

・出演します。十一月三十日(土) 阪神クリスマスフェスティバルに出演。ナイトdeライト (長沢紘宣、三橋恵之矩)

●実践神学セミナーのご案内●

実践神学セミナー  
十月二五日(金)  
講師・藤田桂子師(ジャパントク  
リエイティブミニストリー)他  
KBI教師  
テーマ・「教会はLGBTQをどう受け止めるのか」  
参加費・二千元(フレンズ会員は半額)  
会場・関西聖書学院  
申し込み締め切り 十月十五日  
まで (出席と昼食の有無)

